

研究室紹介



今号では

言語文化・社会文化・行動科学・自然環境科学・数理情報科学
の五つのプログラムの先生取材しました。

1年生の新鮮な感覚で様々な質問をしています！ぜひ、次のページへ!!



言語プログラム

安仁屋 宗正 先生

ています。

研究までの道のりを教えてください！

もともと統語論を研究していましたが、want toが縮まってwannaとなることに興味を持ち、音声について研究を始めました。その時、大事にしたことは、総合科学部なのでなるべく総合的に研究することです。曖昧性については、総合性ということを考えて研究を始めました。

安仁屋先生の学生時代を教えてください！

どちらかというと、不真面目な学生でした。高校の時の話ですが、担任だった体育の先生と一緒にお酒を飲んだりしていましたね。あと、大学進学コースに入っていたんだけど、一番下のコースに勝手に変わったりもしました。でも、英語の先生が面白かったの、英語が好きになりましたね。大学では、夜間で三年間通いました。不良少年とまでは言いませんが、それに近い感じでした。できない学生でした。

そして、修士を取るためにカリフォルニアに行きました。マスター（修士）をとって、一度沖繩に帰って、今度はドクター（博士）を取りにすぐシアトルに行きました。カリフォルニアの大学では文学を専攻しようと思いましたが、文学専攻では

安仁屋先生の研究内容を教えてください！

研究内容は、音声学音韻論と統語論関係です。最近研究したことを言えば、音論、音韻論の分野では、アメリカ英語の弾音に関してやっています。統語論関係では曖昧性についてやりました。曖昧性についてですが、同じ発音でも違う意味になる単語がありますよね。例えば、英語だとflowerの花もあるし、flourの粉もある。単語レベルだとそのようなものもあるし、その曖昧性が統語的なものなのか、あるいは単語的なものであるか、その違いによって、意味がいくつかに分かれるので、その解釈をし

なく、言語専攻で合格していました。現地で学部変更しようと思いましたが、文学専攻は詩や短編小説をいたり、分厚い本を一週間に何冊も読まされたりするようで、太刀打ちできないと思います、変更せずに言語を学びました。そこでも遊びまわっていて、親には二年で沖縄に帰るといつていたのに、結局十年もアメリカにいました（笑）。

故郷、沖縄についてどう思いますか？

生まれてからずっと沖縄にいたので、なると言っても、透き通った海が好きです。でも、気候的には西条のほうが好きなんです。なぜかという、四季がハッキリしているから。沖縄の人は泳ぎませんが、旅行客は冬でも泳いでいますしね。食べ物なども沖縄料理は好きですが、住むにはこっちのほうが快適なので、家も買って住んでいます。だから、自分の子供は沖縄の方言は分からないですよ。

学生に一言お願いします！

オスカー・ワイルドの言葉で、教育とは素晴らしいものだけれど、たまには考えてください、という言葉ですね。彼は、単に教えてもらうのではなく、自分で学びとるということが大切だ、と考えていいました。教えてもらうということは自分のものではないし、長続きしない。だから、自分でやりたいことを見つけて、自分のやりたいところへ進んで欲しいです。一般教養の大切さというのは、今は実感できないと思いますが、歳を経ってから大事さが分かってくるものなので。

【担当】

23 生	金子	久誉
23 生	鈴木	悠太
23 生	白川	美琴
23 生	立川	茜

趣味

家から25分かけて駅まで歩くことです。調子が良ければ、西条駅から大学まで、プールバール沿いを歩くこともあります。それと、たまに家で空手の練習をすることです。

座右の銘

公案の言葉（師匠と弟子の対話）が好きですね。特に越州（じょうしゅう）という和尚と弟子の話が好きです。

好きなスポーツ

空手が好きですが、釣りも好きですね。以前広島大学にいた大山先生と一緒に、船で沖まで行って金目鯛を釣るのがすごく面白かったです。



社会文化プログラム

町田 宗鳳 先生

れを皆が理解するには時間がかかりますが、こういう学問の専門者の責任として、そういう思想の共通基盤をはっきり定義づけたいと考えています。

宗教の共通基盤の理解は、究極的には自己理解で、真の自己理解によって他人との争いが無くなります。自分というのは空気や水みたいなもので、体ごと本当に理解したら空気や水になるんです。みんな各々違うけど、それは泡みたいなもので消えて水に還る。ここで泡が消えて水に還るとは死ぬことで、水という永遠の命に還ることで。こういう自分の存在に気づけば、争う必要はないんです。

町田先生の学生時代を教えてください！

私は、学生というのはアメリカでの6年間しかやっていません。日本と違って勉強量が違うし、言語はもちろん英語ですから大変でした。そのような戸惑いがある中で、最後までモチベーションを保って勉強

町田先生の研究内容を教えてください！

専門は比較宗教学です。ただ単なる比較ではなく、異宗教が共通して持つものを探るようにしています。例えば、仏教とキリスト教は表面的には全く違う宗教で、教義も儀礼も歴史も全部違うけど、根っこに同じものがあるんじゃないかと思うんです。その根っこにある何かを探るのが、私の研究スタンスです。今まで異宗教同士がずっと戦争を繰り返して、信仰の違いが争いの原因になっていきます。だから、その違いばかりを見るのではなく、何か共通するものがあるのではないかと考えました。水泳ができる人が、浮き袋を必要としなないと同じように、人類がもう少し賢くなれば、おそらく宗教も無くなるでしょう。そ

できたのは、若い時に私がお寺にいたからだと思います。仏教を外から見たい、そしてほかの宗教と比べてみたいという気持ち強く、仏教をもっと合理的に、どんな国の人にも説明できるような人間になりたいって思ったから、アメリカの大学に行きました。

一つ一つの宗派の話だけではなくて、仏教全体っていうものがなんであるかということ、イスラム教徒に話しても、ユダヤ教徒に話しても通じるような話し方ができる人間になりたい、っていう気持ちで常にあつたと思います。そういう気持ちで学生生活を送っていましたね。

先生が総科の学生ならば何を専攻にしますか？

人類学かもしれません。現場に行つて現地の人に触れて学ぶ。世界中のワイルドなところに行つて、先住民とかと一緒に生活してみると面白いと思いませんか。彼らの生

【担当科目】
文明共存論
平和と何か
自然と宗教
比較文明論
比較文明論演習

研究室紹介

活習慣とか宗教儀礼とか、本人達はあんまりやっていることの意味がわかってない。それを見て、哲学的な意味を引き出すようなことをしたい。要するに、ワールドワイドでワイルドな人類学かな。でも人類学は、データを集めて、そこから哲学を引き出してやることは少ない。写真も撮りまくって、インタビューもして、莫大なデータを集める。それが人類にとつてどういう意味があるのか。あるいは、私は文明論も専門のひとつだから、大きな文明の中でそれがどういう意味があるのか、という定義づけをしないと意味がないと思うんです。私は、アフリカならアフリカだけとか、オーストラリアならオーストラリアばかり、などと専門を決めて一つの部族に絞って研究するようなことがあんまり得意じゃないので、いろんな部族に会って、その最大公約数みたいなを出したいです。性別も生い立ちも年齢も全部違うわれわれが、共有しているものを本当に理解したら、兄弟みたいに仲良くなるはずじゃない？

学生に一言お願いします！

大人しすぎる！もっと外に出て冒険しなさい。大学にとどまるだけじゃなくて、色々な所に行って欲しいです。特にボランティアはおすすめです。人に親切にするくらいのボランティアではなくて、積極的に人生の、魂の修行ぐらいに思ってる。海外に行くのもいいけど、今は絶対に東北に行くべきです。私のクラスにも必ず言っているけど、全員が行くべきですよ、例外なく。なぜなら、1000年に一度しか起きない歴史的な事件が起きて、その現場に行

かないって言うのはもったいない話だから。復興してからでは遅いんです。人が行かないだろう時で、人手が要る時を狙って、それと場所も良く考えていくべき。だから広大生全員に行って欲しい。

自分がどう感じているとか、何をどう感じているとか、もっと言葉ではつきりと説明できるようにならないといけない。例えば、クラスで「質問ありませんか？」って聞いても、全然質問が返ってこない。討論をしても、しゃべる人だけがしゃべるようなことになっている。本当はみんな思っていることがあるはずなんですけど、なぜか言わない。けれども、それでは通用しない。思い切って話さなきゃ、ただし良く考えてからね。表現するっていうことは、責任を取るっていうことだから。そうでないと、人に言われたとおりには動かない、受け身の人間に一生なってしまうと思う。マニユアル通りにしか動かない人間になってしまうよ。それでは面白くない。

学生に一言お願いします！

もうおじいちゃんなんだけど、聞くの？ (笑)。

とにかく、日本を変えたい。日本が変われば、世界が変わるから。日本は、すごく大きい影響力を持った国だと思います。それは、文化の面でも言えます。例えば、今回の原発事故を受けて、クリーンエネルギーを開発したら、日本から産業革命が起きる可能性がある。やっぱり、世界が注目しているんです。日本が、どう復活するか。今までは単なる経済大国だったのだけけど、もっと自分の文化を大切にするとか、

生活のペースを落として、人が幸せに生きるとかね。そういう風に変われれば、世界の流れが変わってきますよ。
私の言い分では、これから始まるアジア文明のトップバッターは日本なんです。歴史の勢いがあるから、日本はすごく注目されていと思う。中国とか韓国とか、みんなが丸となって動かないといけない。一つの国だけが成功するわけには、いかなからね。

【担当】

23生	知念	礼子
23生	西峯	礼子
23生	福岡	奈織
23生	吉盛	絵里加

趣味

スポーツ。特に水泳。20年間毎日しています。このごろは、スローランニングに凝っています。

好きな場所

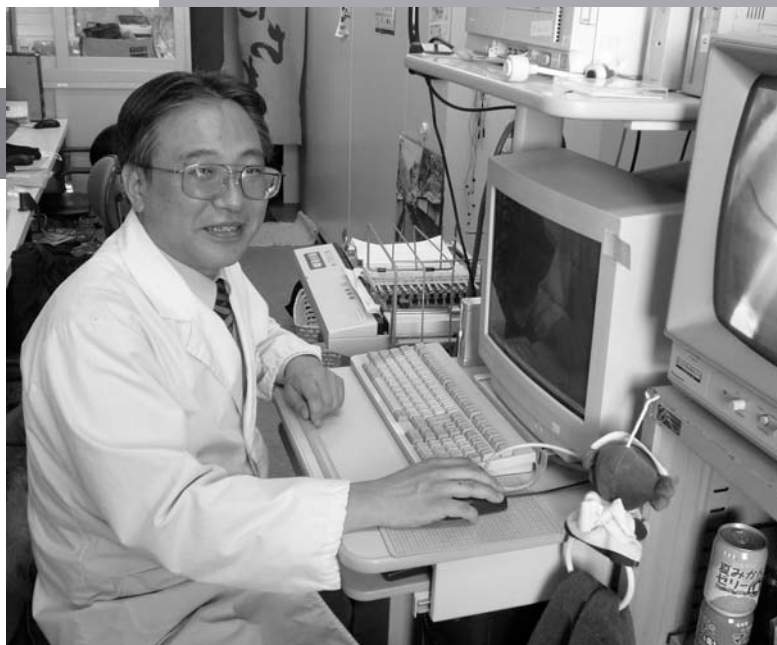
宮島の弥山の山頂。絶景でパワースポットですよ。

座右の銘

「ありがとう」

日課

人と違うことは、朝起きたらお経をあげること。そのあと柔軟体操をします。



行動科学プログラマー

林 ^{はやし} ^{みつお} 光緒 先生

【担当科目】
学問との出会い
認知行動論
生物心理学
脳と知
こころの諸相
精神生理学
睡眠と生活リズム

林先生の研究内容を教えてください！

起きている時の状況が睡眠にどう影響するか、睡眠そのものが覚醒時にどう影響するかなど、睡眠に関する研究をしています。ここ最近では、仮眠の効果調べています。眠りの深さを調べるために脳波を測定しながら、仮眠中に起こして作業成績がどう変わるかを見ています。実験室で眠れるかとよく聞かれますが、大学生は二、三分もあればすぐ寝ますね。どうしてそんなにすぐ寝られるのか、つくらい(笑)。あと、朝なかなか起きられない人に勧めているのが、自己覚醒です。目覚まし時計を使

わずに、朝七時に起きてもらうんです。一週間くらい訓練すると、八十%から九十%の人は起きられるようになるんですよ。あと、大学生は寝る時刻と起きる時刻を固定するより、一日の睡眠時間を固定するほうが、昼間スッキリするようです。

研究までの道のりを教えてください！

この広大総科の第九期生として入学しました。総合科学部を選んだのは、SFマニアだった兄に貸してもらった『宇宙船ビートル号』と言う一冊の本がきっかけでした。その本には、数多くの学者が乗っているのですが、問題が起きた時、全体が見える総合科学部の学者が一人で問題を解決していくものだったんです。その本を読んで、すごくかっこいいと思いました。大学

林先生の学生時代を教えてください！

授業は出ていたよ。眠かったから、ほとんど寝てたけど(笑)。一、二年生のうちはサークル活動で毎週山に登っていました。登るのは大変ですが、ピークハンターと言って、三角点を走破することに喜びを

研究室紹介

感じていました。でも、三年になったら、しんどくなってきたのと広島島の山に飽きたのもあって、簡単に登れて山の雰囲気も味わえればそれでいいや、という風に軟弱になっちゃいましたが。あと、学生のころはいろんな活動をしました。山登りもそうだけど、バードウォッチングや野草調理などもしていました。それをやりながら毎週、レポートも書いたし。だから、学生のころは手帳にびっしりと予定が入っていて、あんまり暇が無かった気がします。でもおもしろかったですよ。

講義中、気になる生徒の行動は何ですか？

一つは、注意しても話をやめない生徒。あと、相手がどう思うかを無視して行動する生徒かな。授業の感想や要望に、心ないことを書く生徒もいます。先生も人間だから、最低限のマナーは必要だよな。

研究で一番楽しいと思う時は？

今でも睡眠脳波を見るのが面白いんだけど、仮説通りに実験結果が出るかどうかを見るのが一番の醍醐味かな。あと、それを論文として投稿して、ちゃんと受理されると、よし、やったー、って思うんだけど、なかなか思い通りにはいかないよね。でも、本当に楽しいと思うのは、学会活動で

すね。学会でいろんな人の研究発表を聞いて刺激を受けたり、学会に来ている人と情報交換することが楽しいよね。

学生に一言お願いします！

いろいろなことやって、いろいろなことに挑戦しようよ、ってことです。ボーっと過ごすのもいいけど、やっぱり自分なりに一生懸命取り組む事が必要なんじゃないかな。「これを大学の時にやった」っていうものを見つけて欲しいよね。自分から積極的にやれば、いろんなことが返ってくるし、大学時代は、やればやるだけいろんなことができる。だから、したいことを見つけてそれに打ち込んで欲しいです。

【担当】

23 生	稲田 雄之輔
23 生	西道 涼
23 生	豊岳 実由
23 生	益田 征哉
23 生	丸山 章仁

行ってみたい国や場所は？

国：イタリア、アイスランド
場所：コロッセウム、古代ローマ人の遺跡、いろんな温泉

一番好きなおでんの具は？

TAMAGO！

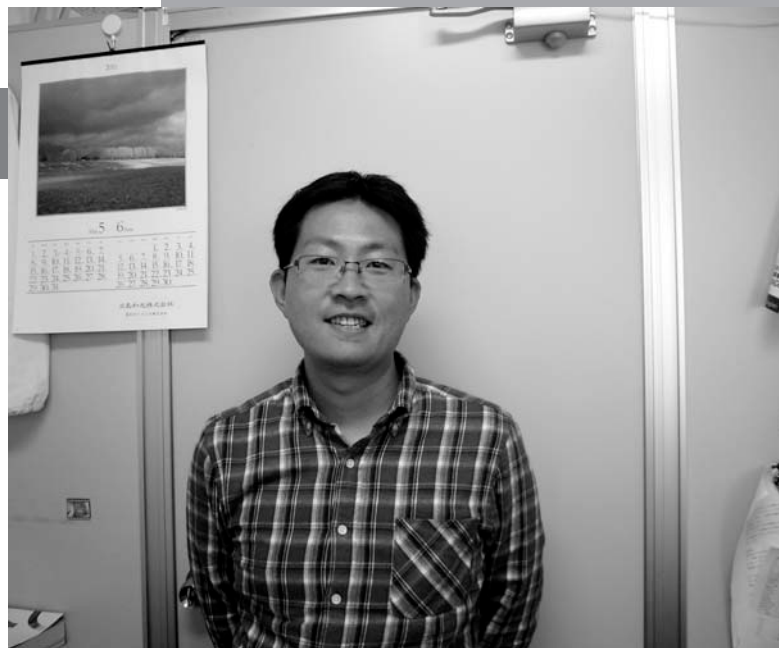
好きなスポーツは？

するよりは観る派。特にサッカーのワールドカップとかは興奮します。

好きな食べ物や飲み物は？

三重県の志摩半島出身なので、アコヤガイの貝柱生ビールが好きで、最近はワインを通販で頼んでいます。

また、プチ豪華ではなく、一点豪華主義！泊まるなら、まあまあな宿に数日泊まるより、1日だけすごく豪華な宿に泊まったほうがいい！本物を知ると、人生観が変わりますよ。



自然環境科学プログラム

和崎 淳先生

研究までの道のりを教えてください！

僕は植物の生産を高める、ということにむけての研究をずっとしてきました。広大にきたのは3年半前で、その前までは北海道大学にいました。研究を始めたのは北海道で、北海道は日本の食糧を一番支えている場所なので、食料を支えるところに貢献したい、と考えていました。しかし現在、農業というのは環境問題に影響しているので、環境に優しく、持続的に食料を生産するということに貢献したいなと思い、研究をしてきました。

和崎先生の研究内容を教えてください！

環境にやさしく、持続的な食糧生産と
言っても、いろいろなところに問題があります。その中でも私が着目したのは、リンという肥料の三大要素のひとつが、現在のペースで使っていくと無くなるかもしれないと言われていくことです。日本にはかつて沖縄しかリン鉱石がとれたところがなく、すでになくなっているのでどう対応したらいいのか、というところを研究しています。

調べるにつれて、これまでにやられている研究とは違う結果がでてくる場合があります。その詳しいことを調べてみよう、つていうのをやった結果、いろんな植物がいきました。大きくなる植物に肥料をあげてやったら育ち、逆に小さくなっちゃうのも

あったり変わらないのがあったり。そこでいろんな評価軸をもって追及をしていき、吸収能の高い植物を分析していくと、いろんな戦略を持ってリンをうまく吸っているということがわかります。今後はそのどうしたらそれができるのかな、つていうことを調べていきます。

和崎先生の専門分野を教えてください！

私の専門は、根の周りにおける植物・微生物間の相互作用と養分動態です。根の周りの周りは、微生物にとつてすごく暮らしやすい場所であるかもしれないと考えられています。一般的な土に比べて根の周りには、微生物の数が100倍くらい多いことが多い。それくらい増えることを生み出すほど、根の周りで環境が変化しているこ

【担当科目】

生物学実験

細胞科学

根圏の科学

研究室紹介

とがあります。当然ながら生物が増えるということは、植物と競合関係にあるかも知れませんが、あるいは、同じように競合しているだけじゃ意味がないんで、植物にあげようとする共生関係にあるのもある。そういうところを、相互作用といいます。それを明らかにしていけば、微生物にとられすぎない、植物にとつては十分育つし、ちようど無駄にならないリン酸をあげられます。それを目指して研究しています。

自然環境系に進んだ理由を教えてください！

高校の時に僕が一番好きだったのは、世界史と、漢文でした。超文系でしたね。生物も好きでした。だけど自分がこれを突き詰められるか、っていうことを考えた時に、好きで学ぶ知識として、っていう点では文系科目はすごく好きだったんだけど、理系科目はまだまだ分からないことがいっぱいあって、そこに面白みを感じました。なので、生物系のほうに行こうと思いました。できることなら、大学で学んだことをどこかで生かしたいじゃないですか。世の中に自分が貢献すると考えた時に、そして自分がやりたいことをやる、っていうところを考えた時に、生物を、生物学の発展するところで生かせる場所と見たのが、農学というか生産かな。そう思ったので、こ

の分野に進みました。

学生に一言お願いします！

先生であれば、学生を伸ばしてあげたいじゃないですか。でも、伸ばしてやろうと思っても、自分で動かなきゃ伸びないんです。自分を伸ばそうと思わないといけない。壁があると思う。だれだつて困難に直面する。だけど、どんな困難でも、これなら越えられそうかな、って思う高さってなるとなくあるじゃないですか。それを少し超えてみようと思うこと、っていうのが大切だと思います。それを超えられたら、自分が限界だと思っていたことを自分で乗り越えたことになる。その部分だけちよつと自分が伸びたと思える、実感できるんです。それを感じて、面倒だと思いがらも上に行けると、自分が伸びたな、って思えます。ちよつと無理だと思つて頭抱えていたりしても、やってみて越えられたら自分伸びることできた、って思えますよ。

【担当】

23 生 加藤 正暉
23 生 密山 聖夏
23 生 宮尾 祐子

趣味

ダイビング。
海に潜って写真を撮るのが好き。

好きな音楽は？

落ち着いた音楽が好き。
パイプオルガンとかピアノの音が好き。

学生時代のサークルは？

サークルはせずに、アルバイトでお金を貯めて旅行に行っていた。

好きな食べ物

たくさんある。カレー、マグロ、刺身、お寿司。ホワイトアスパラ、トマトとか何でも。

学生時代は？

今とあんまり変わっていないんだよね。

今したいこと

良い研究がしたい。



数理情報科学プログラム

原田 耕一 先生

はらだ

こういち

【担当科目】

知能とコンピュータ
コンピュータ基礎論
情報工学講究Ⅰ・Ⅱ
情報工学セミナーⅠ・Ⅱ
コンピュータシステム
ヒューマン・コンピュータ・イ
ンタフェース論/計算機演習Ⅱ

原田先生の研究内容を教えてください！

元々は、データの補間というものをしていました。求められた離散的なデータ同士の間をいかに推定するかという研究です。与えられたデータを雲形定規で滑らかに結び、コンピュータで滑らかというのはどういうことか、コンピュータでその離散的なデータを補間するにはどういうふうにするか、というのをずっとしてきました。また、曲面になったらどうなるか、ということも研究しました。曲面も、三次元のデータ測定装置を使うと離散的なデータを求めることができます。それをいかにしてきれいな

曲面にするか、という問題が研究の中心ですね。

あとは、研究室の学生がやりたいというデータの圧縮技術の研究です。画像データを、いかにロスが少なく効率よく圧縮するか、という研究ですが、圧縮も元に戻すときには無いデータを補う必要があるので、補間と同じことが生じます。一言で言えば「データの欠落したところを補う」という研究です。

また最近では、人の表情の研究もしています。人の顔のモデルがあつて、その顔を定義するパラメータをどのように変えると、どう表情が変わるか、そして人間のその表情の認識との関係を研究しています。

研究までの道のりを教えてください！

大学に入る時は、文系に行こうか理系に行こうか迷っていました。当時は、総合科学部のような学部はなかったので、結局工学部に入りました。僕は行き当たりばったりの人間なので、はつきり言つて大学に入った頃は、人に誇れるほど勉強はしていませんでした。しかし、僕が4年生になる頃、友達が大学院に行くと言っていたのをきっかけに、僕も大学院に行こうと思つたのです。恥ずかしながら、そのときまで僕は大学院の存在すら知りませんでした。おまけに、僕が就職する頃は第二次オイルショックと重なつて、急激に就職率が悪くなつていました。それもあつて、大学院に行くこと決心し、4年生の夏はよく勉強しました。目の前に目標があると、非常によく

勉強できました。大学院時代は勉強しないと卒業できないので、すごく勉強しました。

数理情報科学プログラムの良い所を教えてください！

数理情報科学プログラムは数学もコンピュータもやりますが、いずれも原理を研究するところなんです。原理はなんにでも当てはまるから、数理情報で学んだことはなんにでも使える。まさに、総合科学部みたいなものです。ですから、就職のときにもいろんなことで使えます。理系は大体就職率いいですよ。就職先は年々変わりますが、最近では金融機関が多いですね。あとは、システムエンジニアとメーカーですね。人間は常に可能性、選択の幅が広いほうがいいですよ。そういう意味で、数理情報は選択の幅が広いのでいいですね。

数理情報科学プログラムはその名の通り理系プログラムです。しかし文系から数理情報に来る人も時々います。ですから、文系理系問わず興味を持った人は是非数理情報科学プログラムに来てください。

学生に一言お願いします！

今年は久しぶりにオリエンテーションキャンプに参加しましたが、すごいパワーですね。その団結力を、卒業まで持ち続け

てほしいです。誰しも、だんだんと世に慣れて、大人しくなっていくます。しかし、一年生のときの新鮮さをいつまでも持つていければ、一人残らず素晴らしい学生になりますよ。もちろん元気だけではいけません。チャレンジ精神はいつまでも持つていてほしいです。妥協せずに、時には、時代に逆らってみる必要もあります。しかし、そうした態度をずっと通していくのは難しいですが、少なくとも、心意気だけでも持つておくべきです。いつまでも、フレキシブルな気持ちを持つていてほしい、というのが僕の希望です。

また、英語の資料を恐れるな、と聞いたいですね。日本語の専門書は、ある程度基礎知識のある人のために書いてあります。ところが英語で書いてある教科書は、ほとんど予備知識がなくても読めるように書いてあるので、分厚くなっています。その厚さに圧倒されますが、最初から読むと、ある程度のレベルまで理解できるようになるので勧めたいんです。ある分野を特定したら、英語なんてそんなに難しくありません。その分野で出てくる単語は、ある程度絞られていますからね。

【担当】

23生 飯尾 優一朗
23生 大濱 高佳
23生 高井 大輔

趣味

低山や里山を歩きまわること。

座右の銘

失敗を利用せよ。

好きな定理・法則

シャノンの情報量

学生にオススメの本

基本的なことから書いてある本。